

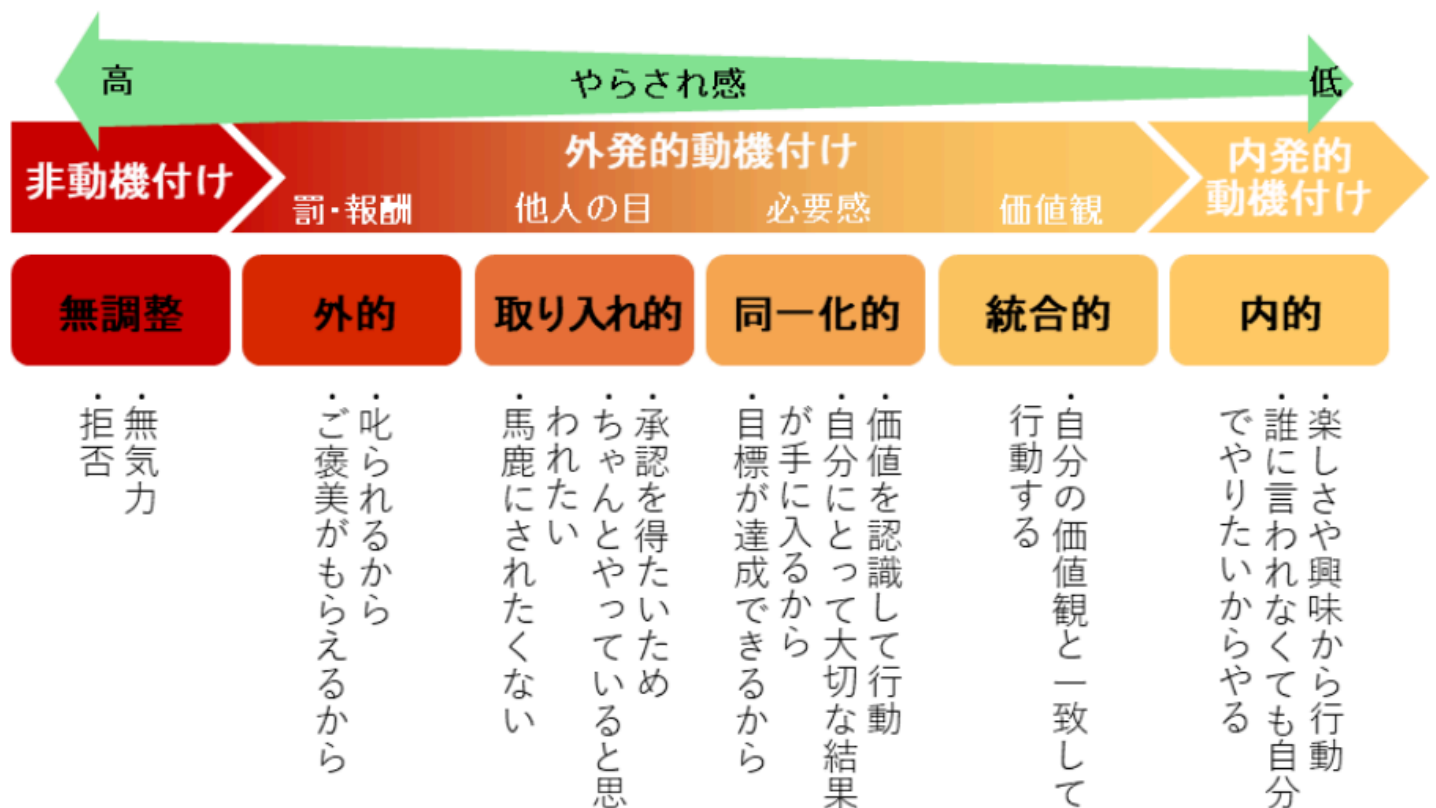
校内研究だより⑤

令和7年度
発行日
6/20(金)

「家庭学習について」

[沖縄県那覇教育事務所資料](#)（エスコートランナー）

先日のひらmakeでは、家庭学習についての取り組み状況を共有し7月の家庭学習旬間に向けて、見通しをもちました。発達段階に応じて、徐々にレベルをあげるために試行錯誤が必要だと感じました。ご家庭の方でも学ぶ楽しさを感じるためにどう取り組むとよいか見つめてもらえたらと思います。



【図 12】 自己決定理論(Deci & Ryan 2002)

有能さ への欲求	成績を上げたい できるようになりたい うまくなりたい 等の欲求	・「できた!」という成功体験を積ませる ・できるようになる見通しを具体的に示す ・学習者に適した挑戦レベルを提供する ・その場で振り返りをうながす
自律性 への欲求	自分で決めたい 自分で選びたい 等の欲求	・学習者がやりたいことに耳を傾ける ・選択肢を与える ・自分で選んだこと、決めたことは素晴らしいと価値付ける ・上手いできないときのネガティブ感情も受け止めてあげる
関係性 への欲求	仲間に受け容れられている 人の役に立ちたい 等の欲求	・友達が興味をもっていることに自分も関わってみる ・友達を思いやった行動に対して感謝される ・協働的な学習活動を行う

文字が多いのですが、大切なので共有させてください。

テストや作品などでは見えない力かもしれませんが、生涯学習としても中学校へのステップとしても、小学校段階で以下の視点を高められるかが大切かもしれません。

プランニング	目標設定	長期的目標と、段階的な短期目標を立てます。今日の具体的な目標を設定します。達成可能な計画を立てることで、意欲が継続し、途中で諦めるリスクが減ります。プランニングはモニタリングやコントロールの基礎になります。計画がなければ、進捗や効果进行评估できません。
	学習内容の整理	学ぶべき内容を明確にし、全体を把握します。学習項目を細分化して、取り組む順序を決定します。
	方法と戦略の選択	目標を達成するための学習方略(学び方)を選びます。 (自分に合った学び方とは P5 参照)
	スケジュールリング	勉強の時間帯や学習ペースを考慮し、無理のない計画を立てます。学習の優先順位を明確にして、重要な部分から取り組みます。
モニタリング	進捗確認	自身が立てたスケジュールリングに対して、どれだけ進んでいるかを確認します。「良い調子！このままだと予定時間より早くできそうだ」、「今日は予定していた範囲が終わりそうもない」と定期的に自分の進捗を確認することです。
	理解度・達成度の評価	学習内容について「どれだけ理解しているか」、「何が足りないか」を自己評価します。「どこがうまくいっていないか」、「どの部分に時間をかけるべきか」具体的に洗い出します。 (モニタリングで理解度を客観的に確認する P19 参照)
	集中力の維持	定期的に自分の集中具合进行评估します。勉強中に気が散っていると感じた場合は、その原因を特定し、対策を講じることが求められます。「この課題を終わらせたら気持ちがいい」とポジティブな自己内対話で集中力を高めること、また、「ちょっと調子が良くないから、やり方を変えてみよう」と修正すること、集中力を維持に繋がります。
コントロール	学習方法の調整	モニタリングで進捗を確認し、必要に応じて柔軟に別の方法を試すことも検討します。状況に応じて学習方法を変えながら進むことで、困難に対処しやすく、目標達成に繋がります。
	時間管理	学習に充てる時間を計画し実行します。日頃から学習時間を記録したり、最初は数学の勉強で、次に英語の勉強をするなど、スケジュールを立てたりします。学習内容に優先順位を付けること、集中力を維持するための工夫も取り入れます。一日の終わりに学習の進捗状況を振り返り、次の日の計画を調整します。
	目標の再設定	学習目標が達成できなかった場合、目標を再設定し、次の学習計画に反映させます。これにより、現実的で達成可能な目標を設定できます。自分で学習をコントロールできる感覚は、学習意欲を高め、主体的な学びを促進します。